

川上町（C地区）における農作物等への被害対策

鹿苑の生捕による収容個体に占める奈良市川上町（C地区）由来の割合が高いことから、当該地域からの収容頭数を減らすことが重要と考えられた。

令和6年度に、現地確認および自動撮影カメラ調査により、川上町におけるシカの侵入箇所と重点対策箇所を特定を行い、第18回管理計画検討WGにおいて対策を検討した。

今年度は、令和6年度調査結果を踏まえ、奈良市川上町におけるシカの侵入防止対策を実施した。

1. 川上町住民への令和6年度調査結果説明の実施

【実施日】令和8年2月17日

【主催】奈良公園室

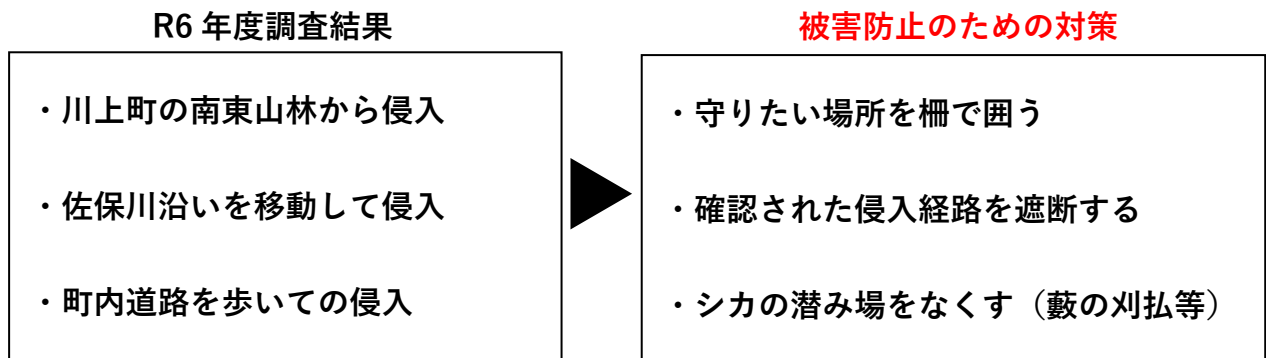
【出席者】A造園（2名）、鹿害阻止農家組合（2名）、奈良市観光戦略課、奈良市農政課

川上町住民等を対象に、住民説明会を実施した。説明会において、令和6年度に実施したシカの侵入状況調査の結果並びに今後の対策方針を説明した。また川上町住民の被害対策意識の向上を図った。加えて、住民等関係者と現地確認を行い実態の理解を促進させた。説明の結果、対象住民から一刻も早い防鹿柵の設置要望を受けた。

2. 対策の全体像

令和6年度調査結果を踏まえ、川上町における対策の全体像を図1に示す。

今年度は、特に被害が深刻な場所（A造園）への侵入防止対策として、令和8年3月24～25日に防鹿柵を新設した（総延長約200m）。来年度以降は、山側や河川からの侵入リスクの高い箇所において、防鹿柵の機能強化を実施予定である。



対策の全体像。R7年度～R8年度の2年かけて実施予定。

- ① 最も大きな被害がみられる場所（A造園圃場）への侵入防止：防護柵の新設（R7・8年度施工予定）
- ② 川上町への主要な侵入ルートである南東山林側からの侵入防止：既存防護柵の機能強化（R8年度施工予定）
- ③ 佐保川からの侵入防止：※河川管理上支障のない場所への防護柵の新設（河川管理者と現在協議中）



図1 川上町における対策の全体像

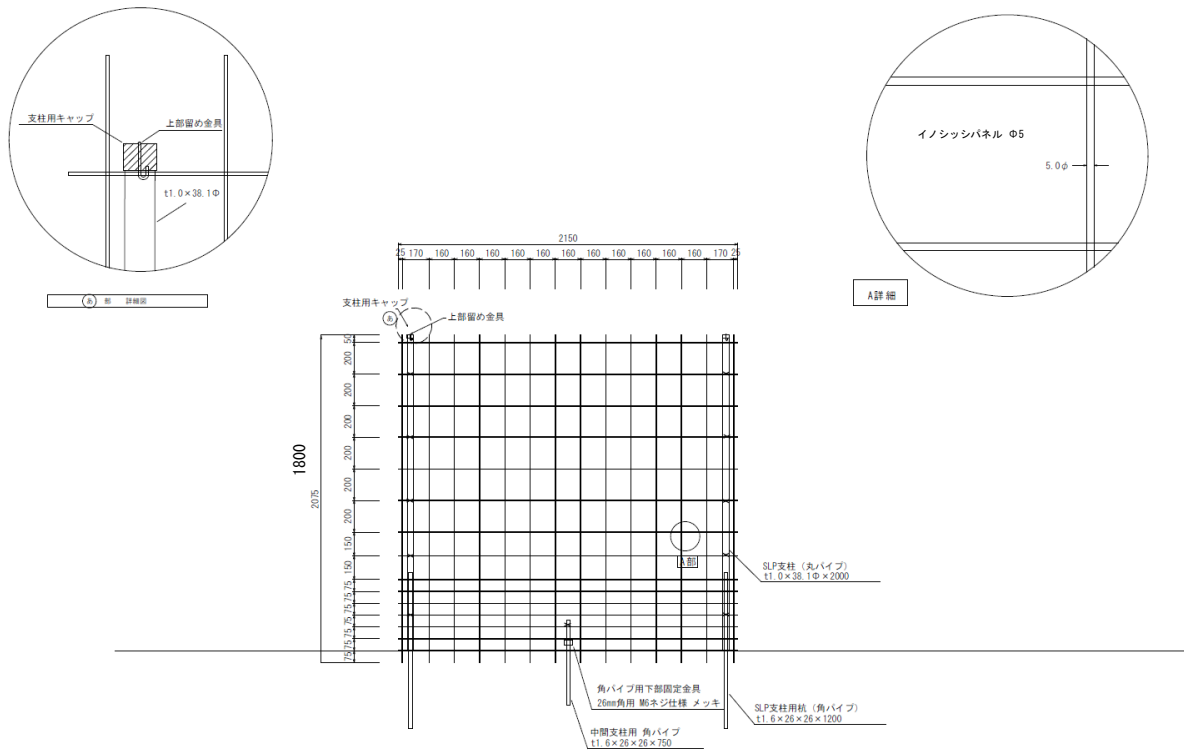


図 3 金属パネル柵 標準構造図

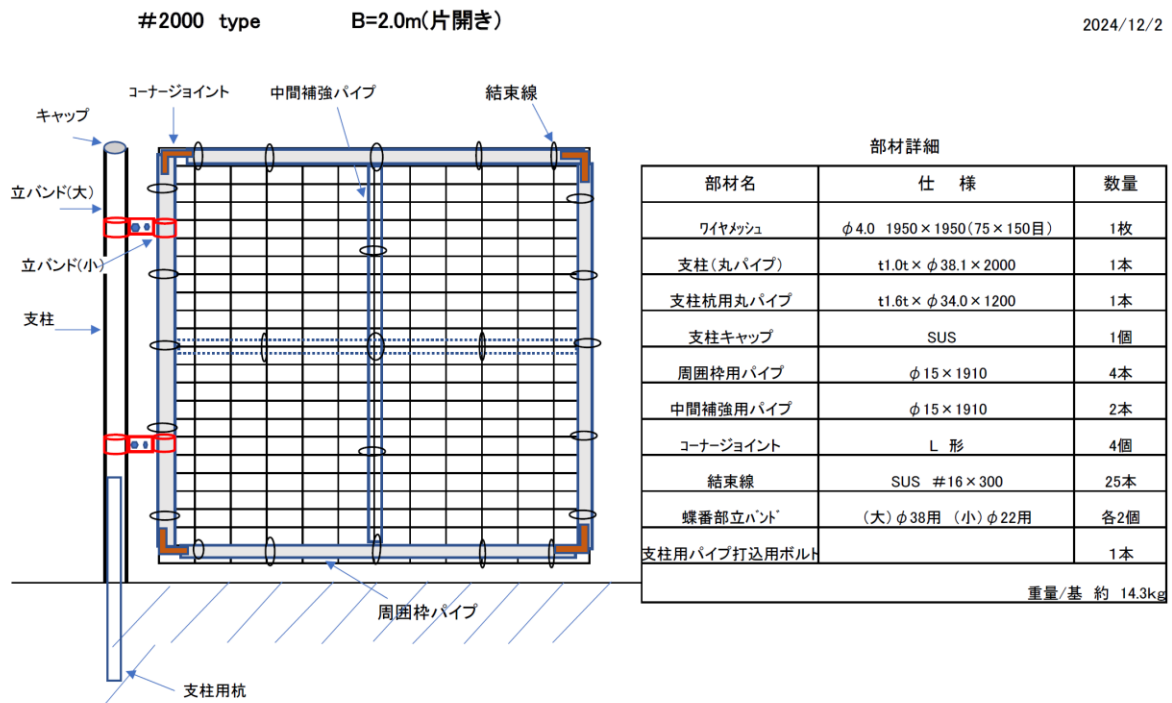


図 4 門扉構造

写真 1 A 造園の防鹿柵設置箇所の状況



写真①



写真②